



成人の門出 家族とともに

十日町の着物会社が企画 密を回避、ニーズ高まる

東京

新型コロナウイルスの感染拡大で大規模イベントの開催が難しくなる中、少人数でできる「家族のための成人式」が、東京・銀座の観世能楽堂で行われた。十日町の着物製造販売会社

いつ和は着物市場が縮小する中で、若い人に着物と親しむ機会を増やしてもらおうと、2019年から、専用のサロンでこうした家族のための成人式を実施し

能舞台の上で写真撮影した「家族のための成人式」
東京・銀座の観世能楽堂

感謝のメッセージを読み上げた。

両親と姉、祖母の5人で参加したさいたま市の渋谷萌絵さん(19)は「能舞台上で素敵な思い出になった。家族しかないので緊張せず、ふだん言えない感

謝の言葉が言えた」と喜んでいた。

父親の哲郎さん(51)は「長岡市(栃尾)出身は「普通の成人式だと、父親が関わるできないので、ありがたい」と話し、母の千賀子さん(53)は「長岡市出身は「成人しても私の中には小さい娘がいる。言葉にできないくらいうれしいです」と涙ぐんでいた。

ている。新型コロナウイルスの影響で、密を避けたいと考える家族からのニーズも高まっているという。今回は、一生の思い出になる特別な場所で行いたいと、能楽堂で企画した。

14日の式では晴れ着姿の新成人が能舞台で家族と一緒に写真撮影に臨んだ。その後、両親から「巣立ち証明書」が贈られ、新成人も